

6月13日(月) コロサイ2:6~19 “キリストに結ばれて歩む”

2:6 あなたがたは、主キリスト・イエスを受け入れたのですから、キリストに結ばれて歩みなさい。

2:7 キリストに根を下ろして造り上げられ、教えられたとおりの信仰をしっかりと守って、あふれるばかりに感謝しなさい。

2:8 人間の言い伝えにすぎない哲学、つまり、むなしいだまし事によって人のとりこにされないように気をつけなさい。それは、世を支配する霊に従っており、キリストに従うものではありません。

2:9 キリストの内には、満ちあふれる神性が、余すところなく、見える形をとって宿っており、

2:10 あなたがたは、キリストにおいて満たされているのです。キリストはすべての支配や権威の頭です。

2:11 あなたがたはキリストにおいて、手によらない割礼、つまり肉の体を脱ぎ捨てるキリストの割礼を受け、

2:12 洗礼によって、キリストと共に葬られ、また、キリストを死者の中から復活させた神の力を信じて、キリストと共に復活させられたのです。

2:13 肉に割礼を受けず、罪の中にいて死んでいたあなたがたを、神はキリストと共に生かしてくださいました。神は、わたしたちの一切の罪を赦し、

2:14 規則によってわたしたちを訴えて不利に陥っていた証書を破棄し、これを十字架に釘付けにして取り除いてくださいました。

2:15 そして、もろもろの支配と権威の武装を解除し、キリストの勝利の列に従えて、公然とさらしものになさいました。

2:16 だから、あなたがたは食べ物や飲み物のこと、また、祭りや新月や安息日のことでだれにも批評されてはなりません。

2:17 これらは、やがて来るものの影にすぎず、実体はキリストにあります。

2:18 偽りの謙遜と天使礼拝にふける者から、不利な判断を下されてはなりません。こういう人々は、幻で見たことを頼りとし、肉の思いによって根拠もなく思い上がっているだけで、

2:19 頭であるキリストにしっかりと付いていないのです。この頭の働きにより、体全体は、節と節、筋と筋とによって支えられ、結び合わされ、神に育てられて成長してゆくのです。

イエス様は、あるときは先立って。あるときは後ろにそっと。あるときは一緒に手をつないで。あるときは背負ってくださる。わたしがどんな時もじっと観ていてくださって支えてくださるお方と信じています。その出会いが人生で実現したことが私にとって最高の幸せなのです。

6月14日(火) エフェソ2:14~22 “一人の新しい人へ”

2:14 実に、キリストはわたしたちの平和であります。二つのものを一つにし、御自分の肉において敵意という隔ての壁を取り壊し、

2:15 規則と戒律づくめの律法を廃棄されました。こうしてキリストは、双方を御自分において一人の新しい人に造り上げて平和を実現し、

2:16 十字架を通して、両者を一つの体として神と和解させ、十字架によって敵意を滅ぼされました。

2:17 キリストはおいでになり、遠く離れているあなたがたにも、また、近くにいる人々にも、平和の福音を告げ知らせられました。

2:18 それで、このキリストによってわたしたち両方の者が一つの霊に結ばれて、御父に近づくことができます。

2:19 従って、あなたがたはもはや、外国人でも寄留者でもなく、聖なる民に属する者、神の家族であり、

2:20 使徒や預言者という土台の上に建てられています。そのかなめ石はキリスト・イエス御自身であり、

2:21 キリストにおいて、この建物全体は組み合わされて成長し、主における聖なる神殿となります。

2:22 キリストにおいて、あなたがたも共に建てられ、霊の働きによって神の住まいとなるのです。

イエス・キリストに出会うことが出来ていない自分の人生を思い描いてみると、なんともみじめで自堕落な自分しか想像できません。人生の沼地に入り込んでもがき続ける様が目に浮かんでしまいます。人の罪の大きさ・重さを思い知らされるにつけて救いに与ることが出来た喜びが湧きあがります。

6月15日(水) ガラテヤ 3:26~29 “キリストを着た者は”

3:26 あなたがたは皆、信仰により、キリスト・イエスに結ばれて神の子なのです。

3:27 洗礼を受けてキリストに結ばれたあなたがたは皆、キリストを着ているからです。

3:28 そこではもはや、ユダヤ人もギリシア人もなく、奴隷も自由な身分の者もなく、男も女もありません。あなたがたは皆、キリスト・イエスにおいて一つだからです。

3:29 あなたがたは、もしキリストのものだとするなら、とりもなおさず、アブラハムの子孫であり、約束による相続人です。

ファミリーヒストリーというNHKの番組があります。ある時、歌手の前川清さんの回でお母さまが長崎の外海出身で熱心なクリスチャンとして慈善活動を積極的にされた生涯を送られたと知りました。ああ、自分もそのようでありたいと思いながらも何も出来ていない自分を恥じました。

6月16日(木) ガラテヤ 5:16~26 “肉の業と霊の結ぶ実”

5:16 わたしが言いたいのは、こういうことです。霊の導きに従って歩みなさい。そうすれば、決して肉の欲望を満足させるようなことはありません。

5:17 肉の望むところは、霊に反し、霊の望むところは、肉に反するからです。肉と霊とが対立し合っているのです、あなたがたは、自分のしたいと思うことができないのです。

5:18 しかし、霊に導かれているなら、あなたがたは、律法の下にはいません。

5:19 肉の業は明らかです。それは、姦淫、わいせつ、好色、

5:20 偶像礼拝、魔術、敵意、争い、そねみ、怒り、利己心、不和、仲間争い、

5:21 ねたみ、泥酔、酒宴、その他このたぐいのもです。以前言っておいたように、ここでも前もって言いますが、このようなことを行う者は、神の国を受け継ぐことはできません。

5:22 これに対して、霊の結ぶ実は愛であり、喜び、平和、寛容、親切、善意、誠実、

5:23 柔和、節制です。これらを禁じる掟はありません。

5:24 キリスト・イエスのものとなった人たちは、肉を欲情や欲望もろとも十字架につけてしまったのです。

5:25 わたしたちは、霊の導きに従って生きているなら、霊の導きに従ってまた前進しましょう。

5:26 うぬぼれて、互いに挑み合ったり、ねたみ合ったりするのはやめましょう。

肉の業はなんと自分の身近にあることか、霊の実はなんと難しいものかと思います。自分の力だけではどうにもならないけれどもイエス様が一緒にいてくださるならば弱い私も向き合うことが出来るように思っています。

6月17日(金) コリントー 13 : 8~13 “最も大いなるものは愛”

13:8 愛は決して滅びない。預言は廃れ、異言はやみ、知識は廃れよう、

13:9 わたしたちの知識は一部分、預言も一部分だから。

13:10 完全なものが来たときには、部分的なものは廃れよう。

13:11 幼子だったとき、わたしは幼子のように話し、幼子のように思い、幼子のように考えていた。成人した今、幼子のことを棄てた。

13:12 わたしたちは、今は、鏡におぼろに映ったものを見ている。だがそのときには、顔と顔を合わせて見ることになる。わたしは、今は一部しか知らなくとも、そのときには、はっきり知られているようにはっきり知ることになる。

13:13 それゆえ、信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残る。その中で最も大いなるものは、愛である。

イエス・キリストを知ることが愛を知る事だと教えられてきました。愛はキリストそのものだからです。生まれながらに愛を知る人はいません。キリストに愛される体験をとおして愛とは何かを教えていただいているのです。

6月18日(土) コロサイ 3 : 1~4 “地上のものではなく上にあるものを求めて”

3:1 さて、あなたがたは、キリストと共に復活させられたのですから、上にあるものを求めなさい。そこでは、キリストが神の右の座に着いておられます。

3:2 上にあるものに心を留め、地上のものに心を引かれないうにしないで。

3:3 あなたがたは死んだのであって、あなたがたの命は、キリストと共に神の内に隠されているのです。

3:4 あなたがたの命であるキリストが現れるとき、あなたがたも、キリストと共に栄光に包まれて現れるでしょう。

私は信仰をまだ持たない若い時に、人は死んだらどうなるのかと不安に覚えたことがあります。地上の虚無の深淵の闇の世界は想像するだけでも希望も光もないもののように感じられました。それが人の罪の結果であり、その救いのためにキリストは来てくださったという福音に出会えたことは本当に感謝しかないので。

6月19日(日) コロサイ3:5~17 “新しい人を着て”

3:5 だから、地上的なもの、すなわち、みだらな行い、不潔な行い、情欲、悪い欲望、および貪欲を捨て去りなさい。貪欲は偶像礼拝にほかならない。

3:6 これらのことのゆえに、神の怒りは不従順な者たちに下ります。

3:7 あなたがたも、以前このようなことの中にいたときには、それに従って歩んでいました。

3:8 今は、そのすべてを、すなわち、怒り、憤り、悪意、そしり、口から出る恥ずべき言葉を捨てなさい。

3:9 互いにうそをついてはなりません。古い人をその行いと共に脱ぎ捨て、

3:10 造り主の姿に倣う新しい人を身に着け、日々新たにされて、真の知識に達するのです。

3:11 そこには、もはや、ギリシア人とユダヤ人、割礼を受けた者と受けていない者、未開人、スキタイ人、奴隷、自由な身分の者の区別はありません。キリストがすべてであり、すべてのもののうちにおられるのです。

3:12 あなたがたは神に選ばれ、聖なる者とされ、愛されているのですから、憐れみの心、慈愛、謙遜、柔和、寛容を身に着けなさい。

3:13 互いに忍び合い、責めるべきことがあっても、赦し合いなさい。主があなたがたを赦してくださったように、あなたがたも同じようにしなさい。

3:14 これらすべてに加えて、愛を身に着けなさい。愛は、すべてを完成させるきずなです。

3:15 また、キリストの平和があなたがたの心を支配するようにしなさい。この平和にあずからせるために、あなたがたは招かれて一つの体とされたのです。いつも感謝していなさい。

3:16 キリストの言葉があなたがたの内に豊かに宿るようにしなさい。知恵を尽くして互いに教え、諭し合い、詩編と賛歌と霊的な歌により、感謝して心から神をほめたたえなさい。

3:17 そして、何を話すにせよ、行うにせよ、すべてを主イエスの名によって行い、イエスによって、父である神に感謝しなさい。

バプテスマを受けることは、これまでの罪の赦しとこれからも犯すであろう罪の赦しが与えられる約束の恵みに与ることは間違いのないものと信じていますが、救われた後も罪深い自分自身と向き合いキリストに倣う人生の歩みを忘れずにしていきたいと願っています。